

小美玉市の歴史を知ろう(11)

「百里」のうつりかわり

御立山から茨城空港へ

▼地名の由来

開港を迎えた茨城空港は正式名称を百里飛行場と言います。ところで、飛行場名に冠されている「百里」と言う地名の由来をご存じですか？

沢新田より茂木村に至る原道を
いう。水戸より潮来迄、六町を
一里として大抵百里程有故に名
づくとぞ」

山楓軒は、この原野にナラやクヌギの植林を始めて、藩林の御立山として保護しました。しかし、明治の世になりました。植林されたナラやクヌギは伐採されて、薪や炭など姿を変えました。そして、大正末期まで小川河岸などに積み重なされ、船で大消費地である東京へと運ばれました。これを証明するように、茨城空港整備に伴う埋蔵文化財の試掘調査では多くの炭焼き窯が確認されています。

昭和十三年、「百里原」(茨城)

平成と時代を経ることに合併を繰り返して、小美玉市が誕生しました。なお市内には、「百里」という大字がありますが、江戸時代に百里村という村はありませんでした。大字百里は、昭和二十九年に小川町が誕生した際に設定された新しい大字で、旧上合村と下吉影村の一部に当たります。

江戸時代の古文書や絵図には、百里と冠された街の記録が残されています。古いものでは、三六〇年ほど前の慶安年間のものがあります。まことに、文化四年（一八〇七年）に小宮山楓軒が編纂した『水府

ルですが、一里を六町（一町＝一〇九メートル）としていたこともありました。すると、一里は約六五〇メートルとなり、一〇〇里は、約六十五キロメートルの距離になります。実は、前に述べた水戸城下とまでは、約六五キロメートルの距離があります。つまり、「百里海道」の由来は、「水戸城下と潮来領を結ぶ一〇〇里の距離がある街道」と考えられます。そして、「百里」の地名は、水戸藩二代藩主徳川光圀公が、下総国（千葉県）の九十九里浜に対抗して、命名したとの逸話も残って

志料』の紅葉組茂木村(潮来市)の項に「百里海道」という街道の記載があります。「芹



小川河岸に何段にも積み重ねられた薪(小川町史より転載)

〔次回の掲載は5月号です
小美玉市教育委員会

生涯學習課目

生涯學習課目

こうして見ると、「百里」の地は、国(藩)有化と民間払い下げを繰り返した大規模開発の歴史と言つてもいいかもしませ

昭和三十年、防衛庁が百里基地建設計画を発表したところ、当時の小川町を二分するように、基地誘致派と反対派が運動を展開しました。しかし、昭和四〇年、主滑走路が完成し、昭和四十一年七月、航空自衛隊百里基地は正式に発足しました。

空港の北側)に筑波海軍航空隊の補助飛行場が建設され、同年十二月十五日、百里原分遣隊が開隊されました。翌年には独立航空隊の百里原海軍飛行隊となりました。太平洋戦争後には、大部分が再び払い下げて、開拓されて農地となりました。現在でも、行政区「百里開拓」の地名として、その名残を今に伝えています。

4月前半 休日診療当番医(外科) 緊急診療所(内科・小兒科) 緊急診療所(石岡市医師会病院内) 4月前半

◆受付 午前9時~11時30分・午後1時~3時30分				休 日	4月4日・11日
日	外 科				◆受付 午前9時~11時30分 午後1時~3時30分
4	石岡市医師会病院	(石岡市)	☎22-4321		4月3日・4日・10日・11日
11	石岡市医師会病院	(石岡市)	☎22-4321	夜 間	◆受付 午後6時~9時30分

◆病気やケガのとき、お医者さんを探す(24時間対応) ☎029-241-4199

◆お子さんが急な病気などで相談したい時(相談時間:午後6時30分~午後10時30分) ☎029-254-9900

